

授業科目 相談援助実習指導Ⅲ

【担当教員名】 松山 茂樹 他		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 本授業は、3年時後期で行う「相談援助実習III」の事後学習として位置付け、配属実習で学んだことを通して、相談援助実習の意義を確認するとともに、相談援助のあり方を考察する。具体的には、実習記録に基づく実習報告書によってグループ単位で考察を深め、実習施設等の実習指導者等との連携した実習報告会を開催し、自己に求められる課題の明確化とその対応方法等についての理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 実習記録等を通して相談援助実習を振り返る。 2. 実習報告書を適正に作成する。 3. グループ内での予備発表を行い、相談援助実習の意義について理解を深める。 4. ソーシャルワークの機能及び社会福祉士としての役割について理解する。 5. 実習内容についての達成度を自己評価し、自己の課題の解決に向けて具体的に取り組むことのできる能力を身につける。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス（授業の進め方、内容と方法、留意事項等）				講義
2	グループ学習 1				実習分野別に分かれて実施
3	グループ学習 2				実習分野別に分かれて実施
4	グループ学習 3				実習分野別に分かれて実施
5	グループ学習 4				実習分野別に分かれて実施
6	グループ学習 5				実習分野別に分かれて実施
7	グループ学習 6				実習分野別に分かれて実施
8	グループ学習 7				実習分野別に分かれて実施
9	グループ学習 8				実習分野別に分かれて実施
10	グループ学習 9				実習分野別に分かれて実施
11	グループ学習10				実習分野別に分かれて実施
12	実習報告会 1				施設等の実習指導者も参加して実施
13	実習報告会 2				施設等の実習指導者も参加して実施
14	全体学習（ソーシャルワークと実践等）				講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		五訂 社会福祉実習		中央法規	
その他の資料		現場実習の手引き		新潟医療福祉大学	
【評価方法】 出席状況、実習報告書、レポート等を総合的に評価			【履修上の留意点】 相談援助実習IIIの履修が要件となる科目であること。		